



日本の笑いのルーツ **狂言** 体験!

学校と父母の会共催で「狂言鑑賞」が行われました。お招きしたのは、日本の文化や芸術を紹介することをミッションとして活動している「能ソサエティ」さん。

この日の演目は、「柿山伏」。6年生の国語の教科書にも載っている子供たちにとって親しみやすい演目です。

狂言は対話を中心とした「せりふ劇」。大がかりな舞台装置は一切用いず、言葉やしぐさによってすべてを表現します。歌舞伎との違いも分かりやすく教えていただきました。

外国にいるからこそ感じる日本文化のよさ。日本の文化や伝統を継承していくことの大切を考えるよき機会となりました。



狂言の大きな特徴は「笑い」！子供たちの笑顔がはじけました。

□バイリンガル教育セミナー

父母の会の主催でTCKworkshop代表の水田早枝子先生に「お子様の視点から考えるバイリンガル教育セミナー」と題した講演がありました。

講師ご自身の小5～中3までの5年間の海外生活（現地校とNY補習授業校）で身に付けた異文化体験や言語能力、外国人に動じないで接することのできる資質など、苦労はしたけれどその苦労は大人になってから生きていると話されました。会場に集まった67名の保護者の方々は熱心に話を聞いていました。



□国際学級

本校には、幼児部・初等部・中等部・高等部の他に、国際学級が設置されています。現在5名の子どもたちが在籍しています。両親共にアメリカ人、スペイン人、中国人、両親どちらかが日本人など様々で、学年も初1・4・6年生・中1年生の異学年が在籍しています。ここは、基本的に日本語が話せることが入学の条件になっています。日本語学校ではないので、日本語を教えるところではなく、「日本語を使って日本の学習をしたり、日本の文化に触れたり体験したりする」ことを目標としています。

先日、国際学級の子供たちが補佐室（職員室）にきて、授業で練習した「俳句の朗読」を聞かせてくれました。日常生活で日本語を話す環境のない中でひらがなすら読むのが難しいのに、漢字交じりの与謝蕪村や夏目漱石の作品を読んでくれました。



□表敬訪問NY・NJ両日本人学校

先日、ニューヨーク日本人学校の学習発表会とニュージャージー日本人学校のメイプル祭の招待をいただき、訪問させていただきました。

ニューヨーク日本人学校中等部の国語科意見文発表では、発表者のテーマがアメリカでの身近な生活体験から考えられていて、それぞれが自己の体験を交えた説得力のある内容でした。次の英語科のスピーチも今の自分を見つめての内容だったり、身の回りで起きている諸問題に自分なりの視点で考えての主張だったり、聞いていてさすが異文化の中でたくましく生きている中学生だと感心しました。また、着実に日本の次代を担うグローバル人材の育成が行われていると実感しました。

ニュージャージー日本人学校のメイプル祭当日は土曜授業日で伺えないので、練習風景を見させていただきました。講堂では発表テーマを「環境」にした中学生がこれまでの校外学習で学んだことを基に調べたことや聞き取り調査したことなどをスライド等の映像資料を使って発表練習していました。

全日制の日本人学校と土曜日だけの補習授業校とでは、教育活動も違ってきます。



【生活編】 ちょっと観光も・・・

□ニューヨークヤンキーススタジアム

ヤンキースVSシアトルマリナーズを観戦しました。この日の投手は「田中将大」、キャッチャーはサンチェスでした。1回の表でいきなり1点先取され・・・その裏であっさり6点もぎ取り、そのまま勝ち試合！興奮しました！

まさか田中登板に出会えるなんて思ってもいませんでしたので、本当にラッキーでした。しかも大差の勝ち試合。

この広大なアメリカ大国で、小さな日本人が活躍していることが誇らしく思え、なんだか感動しました。



豆粒に見えますが、背番号19田中将大投手です

□本場ブロードウェイミュージカル

ライオンキング
(ミンスコフシアターで上演)



ブロードウェイ通りには20数箇所のシアターがあり、それぞれが看板演目を上演しています。

アラジン
(アムステルダムシアターで上演)



居酒屋で仕上げ！